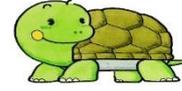


校報かめのこ

福生六小ホームページ <http://fussa-6e.hs.plala.or.jp/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



通知票の見方

福生市立福生第六小学校

統括校長 榎並 隆博

- ①挨拶はしていますか。言葉遣いは正しいですか。話の聞き方に気を付けていますか。
- ②整理整頓はできていますか。忘れ物はしていませんか。
- ③課題に最後まで取り組んでいますか。
- ④決められた役割（当番など）に、自分から取り組んでいますか。
- ⑤仲間と協力し合い、思いやりの心をもっていませんか。
- ⑥約束やきまりを守れていますか。時間を守れていますか。

いきなり何だと思われるかもしれません。この6つは通知票の「学校生活の記録」に取り上げられている評価の観点を、少し大人向けの言葉に換えたものです。保護者の皆さんは職場や人との関わりの中で、①から⑥はどこまでできていますか？

学校では、この6つの内容は、学校という集団の中で生活していく上で、必要なスキルであると子どもたちに指導しています。

終業式に子どもが通知票を持ち帰ると、ついつい国語や算数ができたかとか、逆上がりはできたか、などのことが気になって教科の評価ばかりに気をとられがちですが、私たちは教科の評価もちろん大事ですが、この「学校生活の記録」に示される評価も教科同様に重視しています。理由は学校が集団生活の場であるからです。ただし、評価といっても「できている」か「もう少し」の基準しかありませんから、実はそれほどシビアなものではありません。基本的には「できている」ものとして普段の様子を把握し、できていない部分は指導・助言・支援を続け、最終的に学期末の状態を記録しています。例えば、なかなか身のまわりの整理整頓ができていない子に「片付けるようにしようね」と声をかけ、少しずつでも片付けができるようになれば、「できている」になります。逆にいくら言っても状況が変わらなければ「もう少し」がついてしまいます。つまり「もう少し」がついてしまう場合は、かなり「できている」とは言えない状態を示しています。

子どもは家にいるときの姿と学校にいるときの姿が違います。大人もそうだと思います。私などは家では全くの別人です。その意味で通知票に示されている様々な情報は、家ではなかなか知ることが難しい、学校における集団の中で生きる子どもの姿を思い描く上で参考になります。

1学期終業式に今年度初めての通知票が配られます。もしも「学校生活の記録」に、一つでも「もう少し」があったら、声をかけてあげてください。その際は、叱るのではなく、どうしたら改善できるか話し合っほしいと思っています。きっと家庭でもできることもあると思います。そしてその話し合いの成果を見るために、2学期末の通知票を楽しみにしてください。